会議名	第4回新城地域協議会		公開
日時	令和6年6月29日(土) 午後1時00分～午後3時30分	場所	市役所本庁舎 4階会議室
出席者	(委員) 権田康之、西尾泰昭、矢賀美紀代、坂巻克彦、清水利高、 今泉澄夫、佐本達俊、丸山哲也、中川享子、高木猛至、今泉克英、 松井利文、小栗健次、鈴木雅晴、白柳明美、安形元成、今泉光俊、 福本克司、大瀧章義、沼田宣、今泉栄、畠山恵美子		
	(事務局) 市民協働部：吉林部長、市民自治推進課：杉本参事、宮本副参事 新城自治振興事務所：今泉所長、藤本主事		
欠席者	坂部岳	傍聴者	なし
配布資料	次第、審査にあたっての注意事項について、審査辞退者一覧表		

議題・議事・発言等（要点記録）

<p>1 開会、2 あいさつ 委員23名中22名の出席により会議成立の報告及び会議録署名委員の指名（沼田宣委員、今泉栄委員、畠山恵美子委員）</p> <p>3 説明 事務局より審査の流れについて説明をした。</p> <p>4 公開審査 申請のあった6件について、以下のとおり審査を行った。 （1）団体からの事業説明5分 （2）委員からの質疑応答7分（委員から事前に提示した質問を優先して回答） （3）採点票への記入3分 以下、各団体への質疑応答を記載する。</p> <p>①地域の誇りとなる無形文化財「祭礼能」の継承と発展事業（新城能楽社） <事前質問> Q1： 伝統芸能の存続/継承が難しい時代（後継者/経費等）となって来ていますが、市の無形文化財として是非存続して頂きたい文化財産だと思います。 存続するため当然、古くなった衣装類、道具類の新調および修理に費用が掛かると思います。収入の予定を見ますと、今回申請の交付金と自己負担で賄うようにありますが、クラウドファンディング等の公に寄付を募るお考えはありますか。 特殊な衣装/道具のため、今後も継承/存続のための予算が必要となると考えます。 市と地域住民が一体となって文化を保存し、特定の人の負担を軽減させる考えも有りかと思えます。 A1： クラウドファンディングの活用や、民間と行政とをミックスしたような資金支援がな</p>
--

いかなど、アンテナを広げて考えていきたいです。

Q 2 :

昨年度の能楽社の収入・支出状況を教えてください。市の文化財指定になっているのですが、市から支援金はありませんか。

A 2 :

昨年度の収入支出について概算で、収入 200 万円、支出 190 万円、残金 10 万円です。収入内訳（会費、祭礼特別会費、後継者育成補助金、地区から、区の祭礼世話人から、神社から、等）

支出内訳（謝礼や薪能開催費、文化協会会費、虫干しなどの雑費等）

Q 3 :

この事業の継続期間は「次年度以降随時更新整備が必要と思われる能装束」が全て更新整備されるまでと考えてよろしいですか。

A 3 :

着せる人が増えたり、費用の高騰を考えると、早い段階で更新したいです。まだ5～6年にかかるのではないかと思います。

②子育て応援交流会（新城こども園保護者会）

<事前質問>

Q 1 :

移動動物園について、質問します。

①動物アレルギーの園児にはどう対応しますか。

②大勢が動物に触ったり動物の周りで騒ぐことは動物には強いストレスになります。動物はおもちゃでないことを教える内容になっていますか。

A 1 :

①在園時に事前にアレルギー調査を実施、帽子に目印をするなどして対応します。在園児以外は受付時に調査し、目印をつけてもらいます。

②事業者側が時間を調整するなど、ストレスがないよう配慮しています。また1人ずつ触る、保護者の目の届くところで実施するなどの配慮をしています。

Q 2 :

子どもたちに芸術・文化・自然など多くの体験を通して情緒や社会性の発達に大きな影響を与えたいと思います。こうした経験を少しでも多く取り入れるために、こども園同士の連携や地域とのかかわりを増やすことで、より充実した体験活動が提供できると思います。今後そのような計画は考えていますか。

A 2 :

他園との連携は難しいかもしれないが、園に確認したところ普段の生活の中で散歩等で行き来するなど日常的な交流をする予定でいるそうです。今年度は地域の方も参加できるようにしています。来年度以降も交流イベントができるように引き継いでいきます。

Q 3 :

人形劇は、現時点で園児以外の参加の枠をどれだけ用意されていますか。事業の目的、全体計画の中にこどもから高齢者までが一緒に様々な体験を行う機会を設けるとしており、人形劇の事業内容にも未就学親子や地域の方も参加できるようにと記述があるため人形劇は未就園児親子以外の方も参加可能でしょうか。全体的に子供たちの体験 プラスアルファ地域と人とのつながりを記入されているのでその点が気になりました。

A 3 :

人形劇のプランの人数制限があるため、10～15名程度を募集しています。未就園児親子、保護者、祖父母、地域の方誰でも参加可能です。

<その他質問>

(委員)

地域の方との交流について、その発展性について課題になると思うが、具体的にどんな方法で交流を活性化しようとお考えか。

(申請者)

今年度から地域の方を呼ぶ形になったため、今後の発展はまだ分からないが、今はなるべく受付時に声掛けをして、会話ができるような受付をし、人形劇を見た後に感想を聞くなどは考えているが、今後のイベントの状況を見て考えていきたい。

③新桜通り緑化推進事業（新町地区まちづくり協議会）

<事前質問>

Q 1 :

ひだまりパークが出来てから数年経っていますが今後のメンテナンス方法など（資金面も含めて）はどのように考えられていますか。

A 1 :

約5年前に防腐剤塗布、パーゴラやテーブルやベンチの交換は金額がかかるので、また助成金を活用していこうかな、ということは考えています。

Q 2 :

桜の成長に伴って木の管理や歩道の修理（根の成長による歩道の傷みもあるようですが）などについて、ご意見はありますか。

A 2 :

去年の台風で桜の木が2本倒れました。歩道は根っこが入りにくいためです。それは新しい苗を植えました。

Q 3 :

参加した高校生の感想は前向きですか（継続してくれそうですか）

A 3 :

事業説明でもご紹介したので、他にも聞きたければ読み上げます。いかがでしょうか。
(委員から希望なし)

④子どもの健やかな育ち応援プログラム（城北こども園保護者会）

<事前質問>

Q 1 :

今後活動を継続していくために地域や市に対して望む支援や期待することは何かありますか。

A 1 :

保護者会費ではこのようなイベントを行うことができないので、この事業があること自体がありがたく、今のままで十分だと考えています。

Q 2 :

この頃のイベントは私も小さいながら記憶に残っています。今後、イベントの数を増やすことは考えていますでしょうか。

A 2 :

考えていない。園の行事もあるため、園長先生と話し4つぐらいのイベント数がバランスが良いのではないかと考えています。

<その他質問>

(委員)

新城こども園も移動動物園をやるので、両方見に行けるようにすれば子どもが楽しむ機会が倍増する。そういうことを考えていますか。

(申請者)

過去には一緒にやったことはありました。年長児だけの交流なら園長先生も可能とお

っしゃっていました。そうすると年少児、年中児の事業内容の差が出てしまうと、年少児以上としてしまうと人数がとても多くなってしまいます。このため、この事業ではなく日常保育での交流は行っていくということを園長先生から伺っています。

⑤ “しんしろまち” 歴史本再版事業（橋っこクラブお宝発見課）

<事前質問>

Q 1 :

再版事業とのことですが、平成26年度の出版以来、現時点までの経過の中で新たに判明した事項を加えるなど、改訂版は検討されていないですか。

A 1 :

私どもが改製をする立場ではありませんが、年代が違っていた点は直します。

Q 2 :

今後活動を継続していくために地域や市に対して望む支援や期待することは何かありますか。

A 2 :

この会が来年3月31日になくなります。しかし、とにかく面白い会にしようかとは思っています。

Q 3 :

どのようにこの冊子を広く活用することを考えていますか。この団体の勉強会以外で活用方法をどのように考えていますか。

A 3 :

新城小学校区の9の公民館、集会所に5冊ずつ差し上げて、公民館活動に使っていただきたい。もし公民館長や副館長がこの勉強会に来ていただけるなら、大変ありがたい。30冊は貸し出しを予定しています。新城小学校では6年生のこの教材をもとにして授業を考えてくれています。

<その他質問>

(委員)

文化会館の図書館には寄贈予定ですか。

(申請者)

2冊寄贈予定です。他にも小学校、中学校、報道関係など。

(委員)

一般の歴史好きな方にとっては、2冊では少ないかと思います。

(申請者)

考えていきます。

(委員)

実費販売は考えていますか。

(申請者)

販売は難しいが、余裕があれば差し上げます。会員になってもらえればまず差し上げます。

(委員)

これを資料としてコピーしてもよいですか。

(申請者)

内部資料的にコピーするならOKです。

⑥ 栄町区民相互交流事業（栄町公民館運営委員会 区民相互交流事業部会）

<事前質問>

Q 1 :

駅前展示以外に他に展示する計画はありますか。

A 1 :

なかなか普段置いておけるような広場がないため、軒先に置くけども個人の所有物という意味ではなく、まちを全体的に飾ってもらうために場所を借りています。

Q 2 :

花いっぱい運動に対する区民の意見はありましたか、参加者は増えていますか。

A 2 :

今年もやるのかと声をかけてもらう区民も多くなって、定着してきたと感じる。しかし世帯数も減って高齢化もしていくため、参加者の減少を危惧しています。

Q 3 :

今後活動を継続していくために地域や市に対して望む支援や期待することは何かありますか。

A 3 :

特別はありません。ただ花いっぱい運動をどのように展開するかで公共施設については、行政の方と相談しながら考えていきたいです。また他にも、高齢者含め地域コミュニティを広げていき、各世代の連携を深めることも考えています。

5 閉会（公開審査終了）

会長より審査結果について、1週間を目処に文書をもって通知する旨連絡し、公開審査は終了した。

6 休憩

7 最終審議（非公開）

事務局で集計した審査の結果を説明し、地域協議会としての最終的な審議を団体ごとに順番に行った。採点しなかった委員は協議から外れて審査を行った。

申請事業（6事業）全てが採択基準の27点以上であったため、採択となった。事業内容について条件付けはなく、協議会からの応援メッセージ等について、申請団体へ伝えることとなった。